



MADE IN AUSTRIA

# ホエーブコ №725

## 使用説明書



- 御不明の点がありましたら販売店または㈱エバニューまでお問い合わせください。
- 使用上のミスまたは不注意によるアクシデントは責任を負いかねます。
- 必ず説明書をよくお読みの上正確にご使用ください。



株式会社 エバニュー。

本 社 〒135 東京都江東区木場 6-4-38 製造部(03) 649-4811

大阪営業所 〒543 大阪市天王寺区味原町1-1 TEL:(06) 761-6851

札幌出張所 〒065 札幌市中央区北六条西10丁目(安田ビル)

TEL:(011)251-4628

東北連絡所 〒031 青森県八戸市沼館1-1-19 TEL:(0178)44-7053

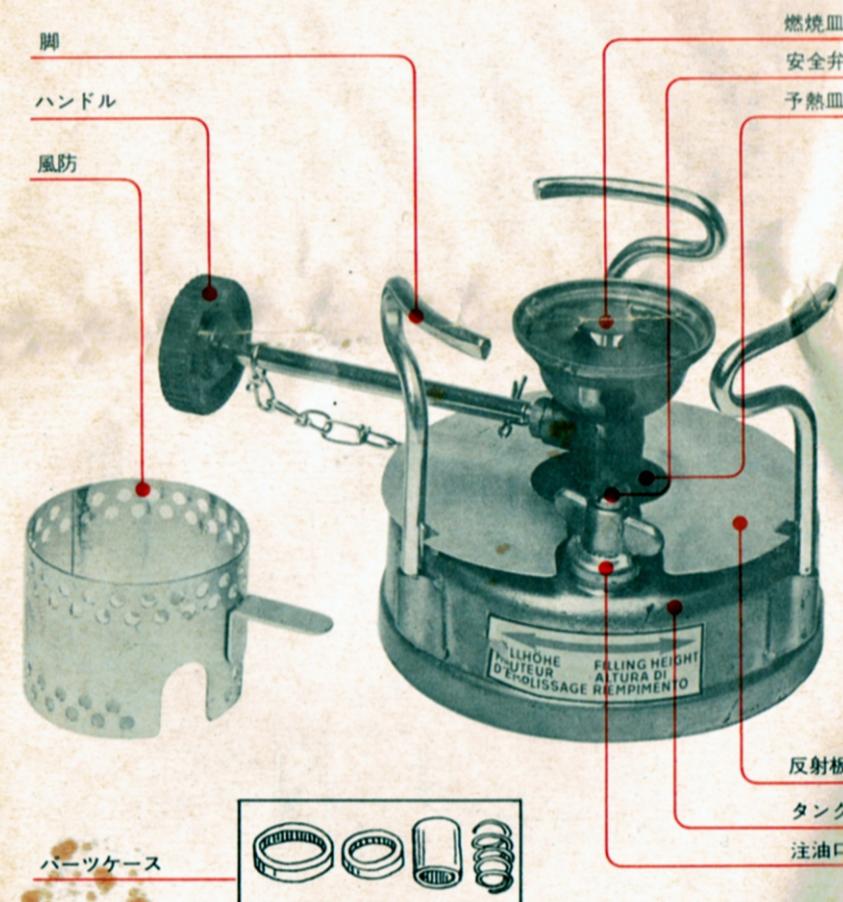
# 目 次

各部の名称	2
分解図	3
燃料について	4
燃料の充填(補給)	5
予熱及び点火	6
火力調整について	8
消火及び収納について	9
調整及び点検	
修理について	10
必ず守っていただきたい 事項	13

## 各部の名称

ホエーブスをお買上げ頂き厚く御礼申し上げます。  
ホエーブスは1918年に生れてより60年の歳月を経て  
今日に至る歴史ある製品であります。  
どうか、末長く御愛用下さるようお願い申上げます。

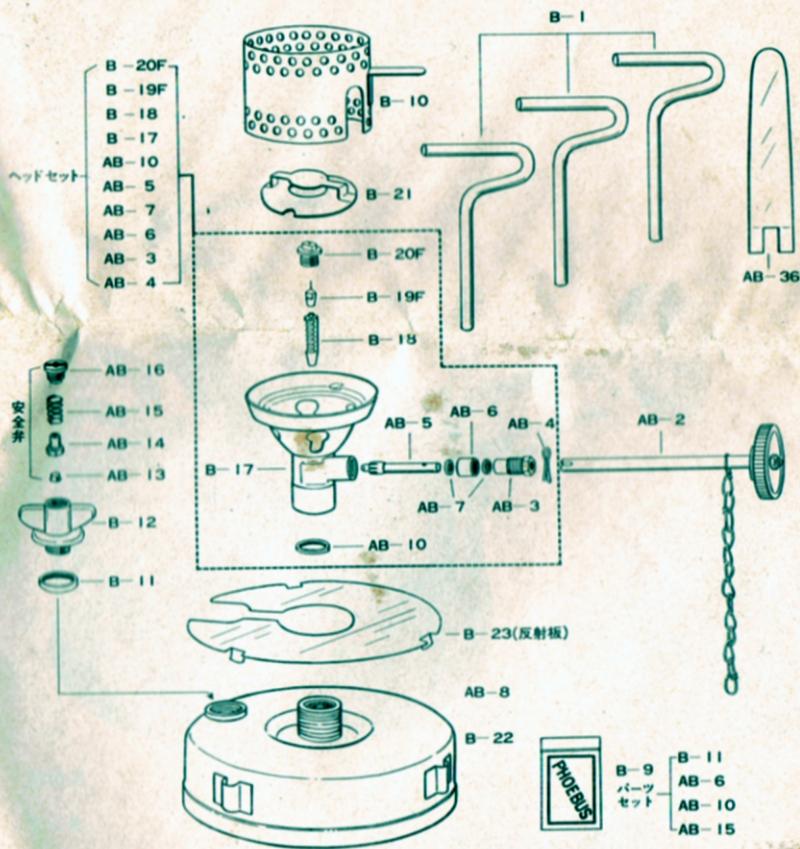
### 各部の名称をよく知りましょう



# 燃料について

ホエーブス No. 725 はガソリン専用の自動加圧式燃焼器具です。

## 分解図



## 燃料の選定

- ガソリンを燃料とする場合、ホワイトガソリンを使用して下さい。ホワイトガソリンが入手困難な場合は自動車用無鉛ガソリンを使用して下さい。自動車用有鉛ガソリンはバーナー内部及びタンク内部を腐蝕させる恐れがあり、又有鉛ガソリンに含んでいる非揮発性分がニップル等につまり故障の原因と成りますので、有鉛ガソリンは使用しないでください。



## 正しく取扱いましょう

- ホエーブス No.725 はガソリンを専用燃料として使用する燃焼器具で人工的にポンプで加圧する事なく自動的に加圧されます。ニップル及び掃除針には F マークが付されていますので確認してください。



# 燃料の充填(補給)

燃焼中又は火気のそばでの燃料充填(補給)は大変危険ですから絶対にさけて下さい。

■燃料を充填(補給)する場合は必ず火を消してタンク本体が冷えるまでお待ちください。又ガスもれによる火が出ていないか確認して下さい。

■燃料を充填(補給)するには注油口のキャップを左廻しにゆるめてはづして注油口から静かに注意して充填(補給)してください。

■タンクの容量は約0.25㍑が適量です(タンクに赤い矢印のシールが貼ってあります)がその線まで)

■それ以上注入すると空気層が少なくなつて自動加圧力が低下して充分な火力が出ません。



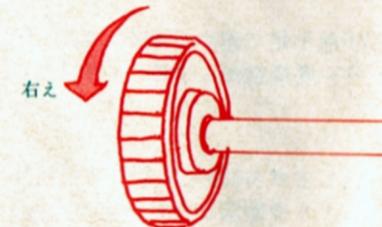
■燃料の充填(補給)が終ったらキャップを右廻しにしっかりと締めてください。ゆるんでいると燃料がもれ燃焼中に引火する恐れがあり危険です。

■燃料の充填(補給)中誤って燃料を外へこぼしダンク等をぬらした場合は乾いた布でよくふき取るか、乾燥するまで待って操作してください。

■燃料を充填したまま高山に登る時は気圧の関係でタンク内の圧力が高まり燃料がもれることがありますので注意してください。

# 予熱及び点火

(1)ハンドルを右へ廻しニップルのノズル部が閉じているか確認してください。(燃料が噴出していなければ閉じている)



(2)予熱皿に燃料用アルコールまたは固型燃料を平均に入れて点火し、バーナ部を充分に温めてください。予熱用燃料には危険ですから絶対ガソリンを使用しないでください。



(3)予熱燃料に点火後反射板及び風防を装着してください。



(4)予熱燃料が燃えつきる直前にハンドルを左へ廻し燃料皿に点火してください。点火当初はできるだけ小さな炎で2~3分間燃焼させバーナー部の確認をしましょう。予熱時間が不充分ですと完全燃焼の状態になるのに余分な時間を要します。



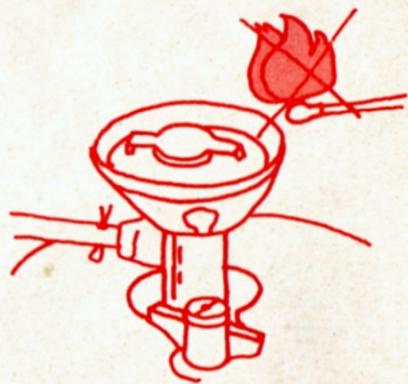
# 火力調節について

(5)予熱不足で赤い炎が出る時にはもう一度最初から予熱してください。

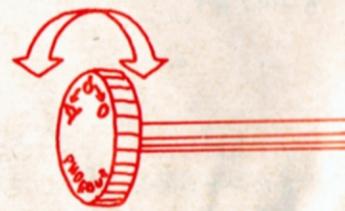
(6)もし生ガス(気化していない燃料)により炎が広がってしまったら、あわてずにハンドルを右に廻し閉めてから炎を消してください。

## “注意”

- ニップルのノズル部を開いたまま予熱をすると燃料があふれて火災の原因となります。
- ガソリンでの予熱は危険ですからやめてください。
- 予熱は必ず予熱皿部でおこなってください。
- 燃焼皿部での予熱は絶対にやらないでください。予熱効果がないだけでなくニップルのノズル部がつまり不完全燃焼の原因となります。



■火力はハンドルを左右に廻すことにより自由に調節ができます。



■燃焼時間は0.25ℓの燃料で、最大火力約1時間30分燃焼します。

# 消火及び収納について

- ハンドルを右へ止まるまで廻すと火は消えます。



- 収納する時にはホエーブス全体が冷えたかを確認してから注油口部のねじを静かに左に廻しゆるめながらタンク内の圧力を抜いて下さい。

- 圧力を抜く時周囲に火気がないか充分確認しましょう。

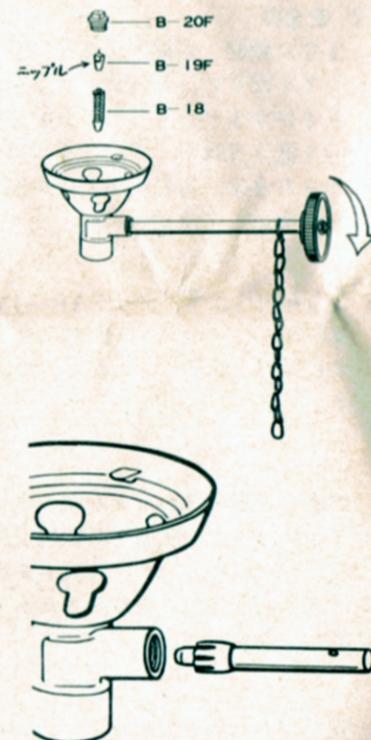
- テント内等での圧力抜きは危険を伴なう場合がありますのでやめましょう。

# 調整及び点検修理（I）

使用する前には点検をしましょう。

## (1) ニップル及び掃除針

- ハンドルを左へ廻すと内蔵されている掃除針がニップルの穴を通り燃料噴出口（ノズル）が掃除されます。



- 炎の調子の悪い時は燃焼中に定期的に実施して下さい。掃除針を燃焼中に操作する場合火が消えますのでマツチ等を準備して消えたらすぐ点火するようにして下さい。

- 長期間の使用によりニップルの口径が大きくなったり変形しますと炎の安定を欠き不完全燃焼の原因となります。古くなったニップル掃除針は新しいものと交換して下さい。

# 調整及び点検修理

( II )

定期的に点検いたしましょう。

## (2) 安全弁

■ 1年に数回、定期的に点検整備をしてください。不純物がつまつたりさびが生じたりして安全弁の機能を低下又は全く不能にする場合があります。特に使用前の点検は充分実施してください。

■ 安全弁内のスプリング（AB-15）及びゴムパッキン（AB-13）を点検し弾力が低下していたらすぐ交換して下さい。

■ 燃焼中に安全弁から火が吹き出することは、タンクの圧力が必要以上に高まったためタンクの破裂を未然に防ぐ安全弁の正常な働きがあったものです。

■ 安全弁から火が出た場合、ただちにハンドルを右に廻してガスを止め、安全弁の火を息で吹き消すか濡れ布などでおおって消火してください。



# 調整及び点検修理

( III )

異常燃焼には落着いて、手順よく処理をいたしましょう。

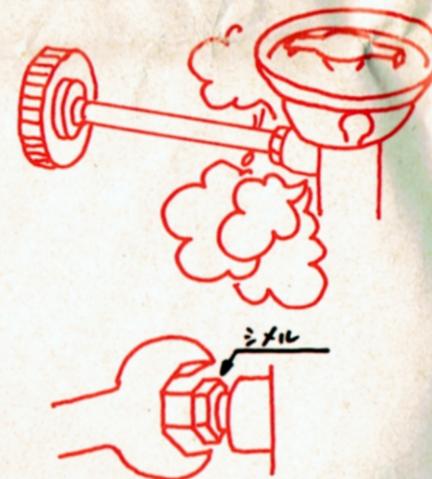
常時安全弁から火が出るのは異常です。タンクが冷えてからタンク内の圧力を抜いて安全弁の修理を実施してください。

## (3) パッキン

■ ハンドル基部から煙や炎が出る時はその部分からガス漏れが生じているので次のような動作を行なって下さい。

(a) 6角ナット（AB-3）をスパナ、モンキー等で締める。

締めてもガス漏れがとまらぬ場合、一旦火を消して本体の冷えるのを待って圧力を抜き。



(b) 6角ナットをはずし、予備パッキン（AB-6）を約4mm程にナイフ等でカットして挿入し、6角ナットを締めて下さい。



■バーナー部とタンク接合部から煙や炎が出る時はその部分からガス漏れが生じているので次のような処置を行ってください。

(a)バーナーとタンクの接合部をスパナ、モンキー等で締めて下さい。締めてもガス漏れがとまらぬときは、一旦火を消して本体の冷えるのを待って圧力を抜き、

(b)バーナーとタンク接合部分をゆるめて分解し、パッキン(AB-10)を交換して下さい。

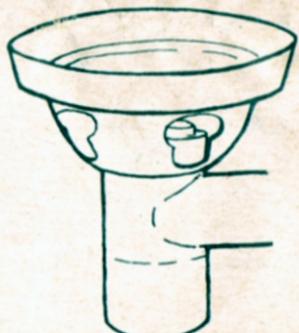
ハンドルは必要以上に廻さないで下さい。

## (5) タンク

■タンク内にゴミ・カーボンなどがたまるニツブルなどにつまり不完全燃焼の原因となりますからタンク内はつねにクリアにしておいてください。

## (6) 保管

■保管する場合燃料を完全に抜き取ってください。特に石油を使用した場合腐蝕しやすいので注意して下さい。



AB-10

## 必ず守っていただきたい事項

※テント内部、室内で使用の場合は特に通常より室内の換気に気をつけてください。

- (1) 気化ガスが充満した場合、引火し爆発・火災の危険があります。
- (2) 燃焼による一酸化炭素の充満により一酸化炭素中毒の危険性があります。
- (3) 酸欠は不完全燃焼の原因となります。

